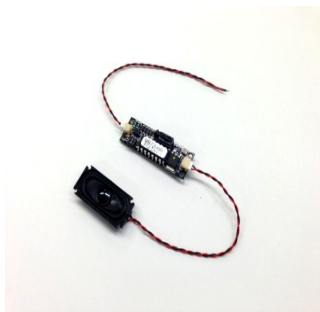


【小田急電鉄ロマンスカー 音源モジュール 取扱説明書】

No.JSR-0001



この度は小田急電鉄特急ロマンスカー音源モジュールをお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。本製品は小田急電鉄特急ロマンスカーが奏でる警笛（補助警報音）音源モジュールです。振動センサーを搭載しているため、走行中のみのサウンド出力も対応しております。取付方法も簡単であり、より本格的なサウンド、Nゲージ鉄道模型が楽しめます。本製品は精密機器です。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みになり、仕様や操作方法をよくご理解のうえ、丁寧にお取扱ください。また、本製品の性質上、取扱に関しては、鉄道模型及び電気知識等を理解されている15歳以上の方に限ります。

機能: AUTOMATIC SOUND SYSTEM

振動センサーにより、走行時にはサウンドがON、停車時にはサウンドがOFFになります。

SELECT MODE

スイッチの切替により、サウンドOFFモード、サウンドONモード、振動センサーモードになります。

定格: 入力 DC IN : 0~12V/300mA(MAX)

保護回路: ポリスイッチ

サイズ: 本体 : W45×D14×H8

スピーカーケーブル : 全長150 (マイクロスピーカー W35×D16×H5.5)

電源ケーブル : 全長125

(単位 : mm)

各部説明: 本体 (表)

本体 (裏)

①電源コネクタ:電源ケーブルを接続します。

②SELECT MODEスイッチ:SELECT MODE設定用のスイッチです。

③スピーカーコネクタ:スピーカーケーブルを接続します。

④振動センサー:振動を感知するセンサーです。

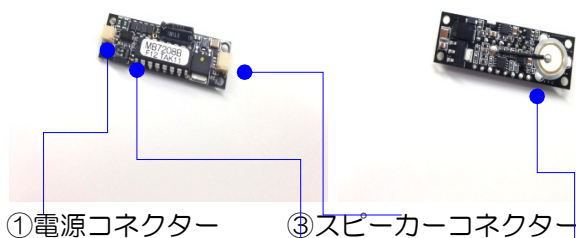
⑤マイクロスピーカー:1W小型スピーカーです。

⑥スピーカーコネクタ:③に接続します。

⑦電源コネクタ:①に接続します。

⑧電源リード端子:+-電源に接続します。

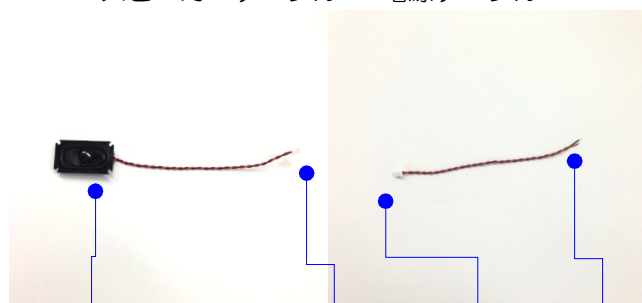
リード端子を模型車両にハンダ付けでの接続で確実に行って下さい。また、ハンダ付けを行う際は、⑦は本製品に絶対に接続しないまま、⑦⑧単体でハンダ付けをして下さい。



①電源コネクタ ③スピーカーコネクタ

②SELECT MODEスイッチ ④振動センサー

スピーカーケーブル 電源ケーブル

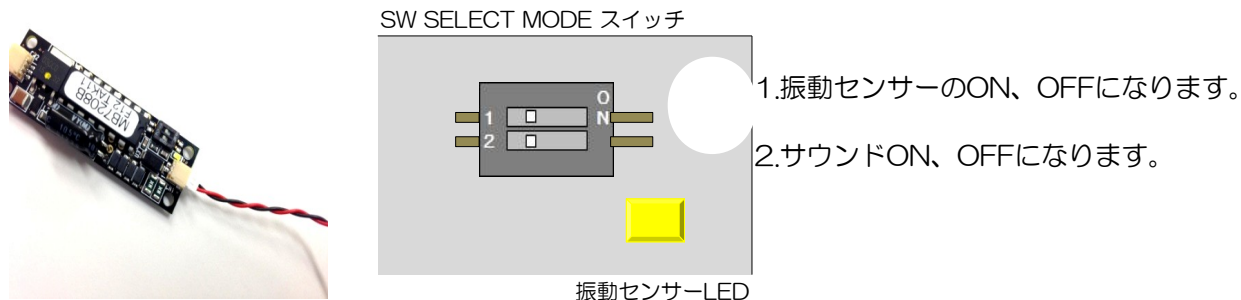


⑤マイクロスピーカー ⑦電源コネクタ

⑥スピーカーコネクタ-⑧電源リード端子

操作方法: 振動センサーON時にはセンサーモードになり振動を感知したら振動センサーLEDが点灯しサウンド...

が鳴ります。OFF時には振動センサーに関係なく、サウンドは鳴り続けます。サウンドON時には音が鳴り、OFF時にはサウンドは鳴りません。



保護機能: ショート時、過電流時にはポリスイッチが作動して、自動的にリセットします。過電流による、本体内部の温度上昇の回避と、基板保護のためポリスイッチを採用しております。

取付方法: 模型化されております商品はすべて、本製品を搭載する仕様に当然なっておりません。この取付方法をご参考のうえ、計画をもって搭載していただきますようお願い申し上げます。

製品小田急ロマンスカー10000形HiSE取付け



N製品小田急ロマンスカー10000形HiSE



スピーカーケーブル取付



本体取付



取付完成



電源ケーブル取付



スピーカーケーブル穴加工

■16番製品への取り付け

16番製品に取り付けの場合は、スペースに余裕がありますので、本体及びスピーカーの取り付けネジ穴を使用して、お手持ちの適当とされるビス・ナットで固定指定下さい。なお、スピーカーあたる床面は、完全にくり抜くか、もしくはピンバイス等で、複数多数の穴を開けることで、音抜けするようにして下さい。

■N製品への取り付け

当社が販売されている製品の一部について、本音源モジュール製品を組み込むにあたっては、設計段階において、販売されている模型製品の本体ボディ自体には加工することなく搭載ができるようにいたしました。しかしながら、模型製品の床下部分、はめ込みのガラス部分については、どうしても削除する部分が発生します。その作業によって、ボディが膨らんだりしないことは確認をしています。また、搭載は、本体、スピーカー、電源を取るための関係から、2車体もしくは、3車体になります。スペース的な観点から、先頭車への搭載はお勧めしません。また、室内灯は工夫をしない限りスペース的に搭載が難しいです。これらのことから、上記の製品画像の⑧の電源リード端子は、モーター車から取ることをお勧めいたします。このモーター車を含めた複数車体にて、本製品を搭載することをお勧めします。スピーカーは、N製品の場合ビス・ナットでの固定は極めて難しいことから、スピーカーの縁に、両面テープを貼り、模型製品に固定して下さい。また固定する場所は、なるべく平らな状態にして、床に向かって、ピンバイス等で、複数多数の穴を開けることで、音抜けするようにして下さい。スピーカーを固定しない状態では、音量は全然出ていない状態でも、両面テープで固定し、模型車両のボディがスピーカーボックスの役割りを果たすと、想像以上の適当な音量になることは、当社でも確認をしています。上記のいずれの作業につきましても、一気に進めることなく、加工は徐々に慎重に進めて下さい。



ご注意

必ずお読みください。

煙が出る等の異常が発生した場合は直ちに、電源を切ってください。繊維製品で覆ったり、遮蔽物で囲う等、放熱を妨げる行為は絶対にしないでください。濡れた手で触ったり、製品を濡らす等、感電を誘発する行為は絶対にしないでください。

製品を模型車両に搭載するにあたっては、模型車両の分解には充分、手・指のケガにお気をつけください。また、模型車両の分解及び製品装着後の組立の際の模型車両の汚損、破損、故障に関しましては一切当社では責任を負いかねます。お客様ご自身の判断で、慎重に模型車両をお取扱ください。

⑧のリード端子を模型車両にハンダ付けでの接続で確実に行って下さい。また、ハンダ付けを行う際は、⑦は、本製品に絶対に接続しないまま、⑦⑧単体でハンダ付けをして下さい。

製品を搭載した模型車輛を動かすパワーパックについては、パルスタイプ、常点灯タイプの製品は、絶対に使用しないでください。また、他の鉄道模型サウンド製品との併用は絶対にしないでください。製品が故障します。

製品をご自分で分解することは大変に危険ですので、絶対にしないでください。

製品を搭載した模型車輛の長時間による連続運転はお控えください。


製品は万全を期して製造しておりますが、万一異常や故障でお困りの際は、当社までご連絡ください。

有限会社ジェイズ

〒156-0054 東京都世田谷区桜丘2-26-5 TEL:03-3420-5861 FAX:03-5450-5861

<http://js5861.com/> E-Mail:js@js5861.com

八幡電気産業株式会社 著作権使用契約締結済

製作  株式会社 東京アドコム <http://www.t-adcom.co.jp>